

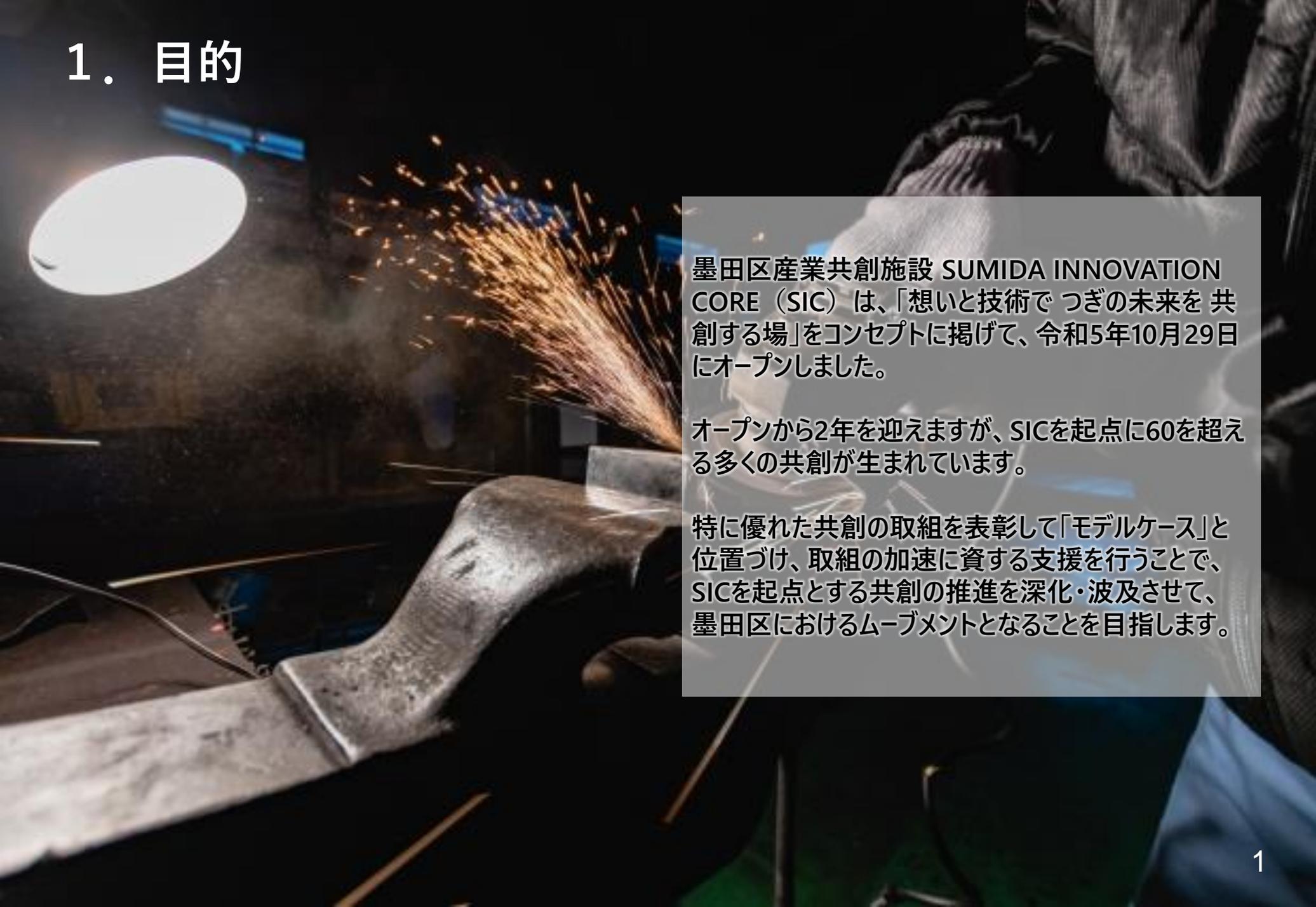
SICアワード 実施要領



令和7（2025）年9月1日

主催：墨田区産業観光部産業振興課
運営事務局：デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

1. 目的



墨田区産業共創施設 SUMIDA INNOVATION CORE (SIC) は、「想いと技術で つぎの未来を 共創する場」をコンセプトに掲げて、令和5年10月29日にオープンしました。

オープンから2年を迎えますが、SICを起点に60を超える多くの共創が生まれています。

特に優れた共創の取組を表彰して「モデルケース」と位置づけ、取組の加速に資する支援を行うことで、SICを起点とする共創の推進を深化・波及させて、墨田区におけるムーブメントとなることを目指します。

2. 公募の対象

- (1) 墨田区産業共創施設 SUMIDA INNOVATION CORE (SIC) の会員※であって、次の各号に掲げるいずれにも該当しないものを公募の対象とする。
- ① 関係法令等に違反する重大な事実があるもの
 - ② 公序良俗に反するもの
 - ③ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の構成員と密接な関係を有するもの及び同条第6号に規定する暴力団員
 - ④ 前各号に掲げるもののほか、宣言事業の趣旨に基づき、区長が適当でないと認めるもの
- (2) 対象は（1）に規定する者の墨田区との繋がりを有する共創の取組とする。
- (3) 取組内容（事業者名・団体名等含む）の公表・掲載が可能であること。

※ 表彰予定日（11/10）時点での会員を対象とする。そのため、本アワード公募期間中にSIC会員の登録申請を行い、審査完了までに会員登録が完了している場合も対象とする。

3. 公募

募集期間	■ 令和7年9月1日（月）～ 9月30日（火）
募集テーマ	<p>■ SIC会員による墨田区との繋がりを有する共創の取組※</p> <p>【墨田区との繋がりを有する共創の取組とは】</p> <ul style="list-style-type: none">• 墨田区との繋がりを有する・・・墨田区の人・企業・場所・技術など何らかの繋がりを有していることを指す（例：自社が墨田区の企業である、一緒に共創に取り組む企業が墨田区の企業である、墨田区の地域課題解決に取り組んでいる 等）• 共創の取組・・・1者での取り組みではなく、複数者以上で相互に信頼関係を築き、それぞれの強みやアイデアを活用し、新たな価値を生み出した取組を指す <p>※ 今回は取り組み前（アイデア段階）の共創は公募対象外です</p>
応募方法	<p>■ 提出書類：SICアワード応募申請書</p> <p>■ 提出方法：電子メールによる提出書類の送付</p> <p>■ 提出先：SICアワード運営事務局（innovation-sumida@tohmatu.co.jp）</p>

4. 審査基準・方法

審査方法・ 期間

- 一次審査
 - 審査期間：令和7年10月1日（水）～ 10月22日（水）
 - 審査方法：事務局による書類審査
- 最終審査
 - 審査日：令和7年11月上旬
 - 審査方法：アワードノミネート者（8者程度を想定）のプレゼンに対する有識者等で構成する審査委員による審査

審査基準

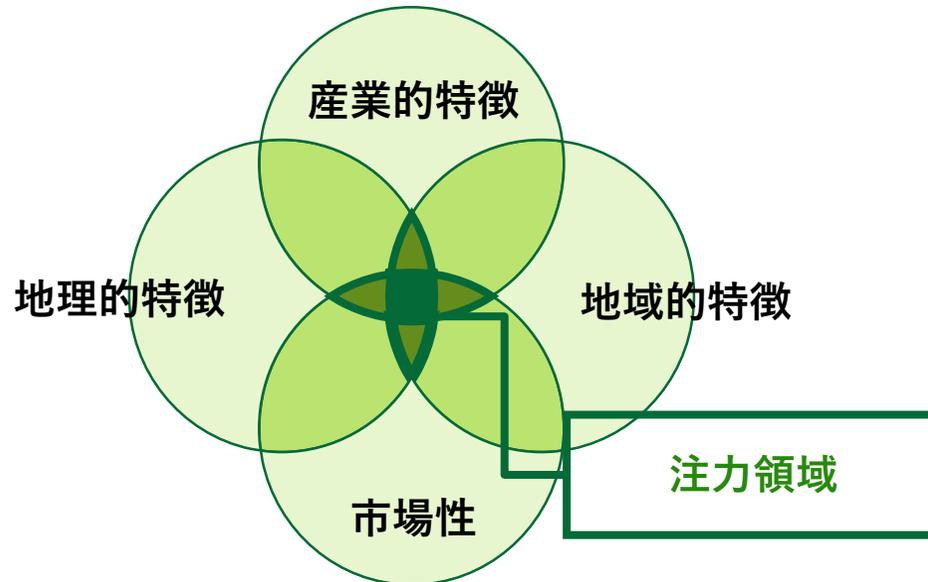
- ① 共創ストーリー：墨田区やSICだからこそ実現した共創ストーリーを有しているか
- ② 墨田区ネットワークとの連携：ものづくりの技術など墨田区のネットワークを生かして想いを形にしようとしているか・できたか
- ③ 人と人とのつながり：「ひと、つながる 墨田区」を体現するような、人と人との濃い繋がりや、人を惹きつける想いや情熱によって取組が前進したか
- ④ 社会課題解決への寄与：共創によって自社・共創先それぞれに成果をもたらすとともに、社会課題の解決に寄与したか・見込めるか
- ⑤ 産業クラスター創出への寄与：墨田区の地域的・産業特性を踏まえており、産業クラスター創出への寄与が見込める取組か

(参考) 産業クラスターとは

墨田区における産業クラスター創出の考え方

将来的な産業クラスター創出を目指して、区としての推奨（注力領域）を以下の4つの軸から導出しています。

- ① 墨田区の産業的特徴：多種多様かつ小規模なものづくり企業の集積によりプロトタイプ製造への強みを有すること。
- ② 墨田区の地理的特徴：大規模河川に囲われ水量豊富でコンパクトな土地であること。
- ③ 墨田区の地域的特徴：より活発に事業者間連携を行うことでさらなる産業の発展可能性を有すること。
- ④ 市場性：将来的にスケール可能な市場規模を有すること。



※産業クラスターとは：地域内外のプレイヤーによる企業間連携・産官学連携等によって、地域の強みを活かした新産業・新事業の創出を目指すもの。

(参考) 産業クラスターの例

推奨する注力領域※	導出観点・想定内容
<p>①ものづくり産業×観光産業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 導出観点：墨田区は様々な業種の製造業が集積する技術の供給地であり、かつ周遊性の高いコンパクトなまちである。観光産業はインバウンド需要の増加を起点に、今後とも国内産業の成長戦略の柱と見込まれる。 ■ 想定内容：ものづくりの現場の開放、スタートアップとものづくり企業が開発したプロタイプが街に往来するなど“ものづくり”が常と感じられる、国内唯一の産業資源を軸とした高付加価値な観光地として新たな地域産業圏を創出する。
<p>②ものづくり産業×ブルーエコノミー (水資源産業)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 導出観点：墨田区はプロトタイプ製造への強みを有する製造業の集積地であり、かつ河川に囲まれた都内唯一のまちである。河川・海洋資源の有効活用等が期待されるブルーエコノミーの市場規模は世界から注目されており、著しい成長性を有している。 ■ 想定内容：ブルーエコノミーを実現するためのハードウェアをスタートアップとものづくり企業が共同開発し、墨田区の河川を活用した実証実験を通じてプロトタイプを多数生み出し、ブルーエコノミーの技術の供給地として新たな地域産業圏を創出する。
<p>③ものづくり産業×日用品宇宙産業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 導出観点：墨田区は近代軽工業発祥の地であり、企業同士の交流を通じてクリエイティブな日用品づくりが盛んである。また、区内に著名な宇宙関連企業が存在するなど、宇宙を身近に感じられるまちとしてのポテンシャルも秘めている。 ■ 想定内容：ロケット等の1点ものの宇宙機器産業ではなく、「将来、宇宙で使える。もちろん地上でも使える」をコンセプトに、スタートアップとものづくり企業が宇宙関連の日用品を開発し、“宇宙が身近に感じられるまち”として新たな地域産業圏を創出する

※推奨領域であり、他の領域での応募も可能です。

5. 表彰・特典

賞の種類※1 ・ 受賞の特典

- グランプリ：1者
 - ① 表彰記念品の授与
 - ② 墨田区長表敬訪問＋プレスリリース
 - ③ 集客1万人以上目安の大規模展示会等における共同出展：2回※2
 - ④ 墨田区・SICの媒体（ホームページ・SNS等）によるPR
 - ⑤ 受賞者をメインとしたSICでの特別企画イベントの開催
 - ⑥ 受賞者のプロダクト・サービスのSIC内での特別展示（一定期間）
- 準グランプリ：3者
 - ① 表彰記念品の授与
 - ② 集客1万人以上目安の大規模展示会等における共同出展：1回※2
 - ③ 墨田区・SICの媒体（ホームページ・SNS等）によるPR
 - ④ 受賞者をメインとしたSICでの特別企画イベントの開催
 - ⑤ 受賞者のプロダクト・サービスのSIC内での特別展示（一定期間）

表彰の方法

- 令和7年11月上旬に開催予定のSIC開設2周年イベント「共創の日／共創の火」内において、表彰を行う。

※1賞の名称は変更となる場合があります。※2 出展先はSICが選定します。グランプリ受賞者の2回目の出展は、受賞者の希望も踏まえて調整します。出展費用はSICが負担します。

6. 留意事項等

- 提出書類は返却いたしません。
- 応募内容（文章・写真・図表など）は、他人の著作権・肖像権・プライバシーなどの権利を侵害しないものにしてください。他人の氏名や写真など、個人の特定につながる情報を掲載する場合は、必ず事前に本人からの同意を得てください。
- 受賞者をSICホームページ（<https://sic-sumida.net/>）に掲載することをもって、全応募者への結果通知とし、受賞者のみに対して別途連絡を行います。なお、審査経過に係る問合せ、審査結果等に対する異議申立ては受け付けません。
- 受賞した企業の取組については、墨田区が行うPRに活用する場合がございます。
- 応募者が法令違反の容疑により逮捕され、又は逮捕を経ないで公訴を提起された場合等の不正又は不誠実な行為があった場合、虚偽の内容を申請した場合は、表彰の対象といたしません。

7. 問い合わせ

事務局		デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
問い合わせ先		innovation-sumida@tohmatsumatsu.co.jp
事務局の企業情報	設立年月	1993年4月
	資本金	500百万円
	代表者	代表執行役 神山 友佑、長川 知太郎
	本社所在地	東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビルディング
	人員数	5,111名 (2024年5月末)
	事業内容	さまざまな業界・業種ごとの専門的知識とプロジェクト経験をもつインダストリーサービスと、組織、機能、目的に対応し、特有の課題を解決するコンピテンシーサービスの2つの軸のプロフェッショナルがチームを組み、コンサルティングサービスを展開しております。また、グローバルに事業展開するクライアントをサポートする体制を有しています。
	URL	https://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/about-deloitte/articles/dtc/dtc.html